

自主防災組織活動報告 多西地区防災・安心地域委員会

「安産祈願」で有名な尾崎観音（宝蔵寺）のある尾崎町内会では、春と秋の2回防災訓練を行っています。数年前の訓練時には、東京都でも数台しかない起震車に来てもらい「地震体験訓練」ができました。町内会の人「私も私も！」とほとんどの人が体験でき、訓練後「あんな地震が来たら机の下に潜り込むのが精一杯で、ほかのことは何も出来ない、怖い！」と実感しました。

発災時には、「まずは自分の身を守る」、それから火の始末、ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを落とすことを学びました。鍋の油に火が入った場合、消火器で直接火元に向けると圧力が高いため、油と火が飛び散ってしまうことがあるので、天井とか壁に当ててワンクッションすると良い、また濡れたシーツで空気を遮断するのも効果的と知りました。

これからも発災時に適切な行動を取れるように地道な活動を行い、防災意識の高揚を図っていきます。



多西地区 尾崎町内会

自主防災組織活動報告 戸倉地区防災・安心地域委員会



戸倉地区は東京都の防災隣組の認定以来、3回目の東京防災学習セミナーを開催しました。

今年は地域防災支援協会の野呂先生の下に「スムーズな避難所開設・運営を目指しましょう！」と題し、講演会と机上訓練を実施しました。

特に避難所開設3点セットグループワークは具体的で、立ち上げの組織作り、レイアウト作り、ルール作りと委員にとっても勉強になりました。

今後出来ることから一つずつをモットーに防災活動を続けて参ります。

戸倉地区防災・安心地域委員会委員長 森田 晃夫

「女性のための防災のつどい」 鈴木佳世子先生のコメント

このたびは、「女性のための防災のつどい」の講師をご依頼いただき、全4回を通して大変お世話になりました。

猛暑の中にもかかわらず、たくさんの方がご来場くださいました。

あきる野市のみなさまの防災に対する関心の高さを感じました。

これは、日頃からの様々な活動をされている役員のみなさまや行政の方々の努力があってこそだと思います。

特に熊本県益城町の映像の場面や、具体的な調理法の話の時には、みなさまの表情が変わるのを壇上からも感じ取ることができました。

送迎など細やかなお気遣いをいただき、毎回何うのが楽しみでした。

「日本で一番小さな花火大会」の素敵なお話は、これからも各地の講演でたくさんの方にお伝えしたいと思います。

ぜひまた、機会がありましたらお声掛けください。

みなさまのご健康とご多幸をお祈りしております。

鈴木佳世子先生



そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

令和元年9月30日
(第14号)

発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 大久保 春彦

令和時代 “自然災害への備え”は万全ですか？

「令和」という新しい時代になって“福島沖で震度5の地震発生”“台風9号、10号続けて日本列島襲う”“九州北部記録的大雨”等の自然災害に関する情報を数多く耳にします。自然災害が少ないあきる野市の皆様は、自然災害を他人事のように捉えていませんか。市民の皆様は、いつ自然災害が発生しても“自分の命は自分で守る”備えができていますでしょうか。自然災害が発生した時、市役所、消防、自衛隊等の公的機関が助けに来るには時間が掛ります。私は常々“地域防災の主役は各地域の町内会、自治会で構成されている自主防災会”だと言っております。自然災害が発生した時は、まず自分で自分の命を守る行動、次に向う三軒両隣の助け合い、そして自主防災会を中心とした地域の活動が重要です。

防災・安心地域委員会では、新しい時代に入っても自主防災会の活動を全面的にバックアップすると共に、市民の皆様一人一人に、自然災害発生に備えた役立つ活動を実行します。その活動の一環として、7~8月に市内4か所において「女性のための防災のつどい」を開催し、鈴木佳世子先生に、女性の目線で考える防災についてお話をいただきました。ご来場いただいた多くの方から“わかりやすい、今後役に立つ話だった”との声を耳にしました。これまでは、防災というと男性中心の活動といったイメージがありましたが、全国的に女性の参画が進んでいる現在、これを機会に、多くの女性が「女性の目線で考える地域の防災活動」に参加されます事を願っています。

令和という新しい時代、“自然災害に負けない地域”“自分の命は自分で守る事ができる地域”の実現を目指して一緒に取り組みましょう。

防災・安心地域委員会本部長 大久保 春彦



防災・安心地域委員会
本部長 大久保 春彦

TOPIC 「女性のための防災のつどい」を開催しました。

防災クッキングアドバイザーの鈴木佳世子先生を講師に招き、女性の視点から「元気の出る防災食」をテーマに市内の4会場（秋川ふれあいホール、あきる野ルピアホール、五日市ファインプラザ、まほろばホール）にて講演していただきました。

災害が発生した時のために備蓄をしておくことは、とても大切なことです。しかし、いざ備蓄のこととなると、何を備えていいのかわからないなんてことはありませんか。

鈴木先生の講演の中では、普段の生活の中で作り置きしている料理や冷蔵庫の中に入っている食材が、すでに備蓄食料であるということ。洗い物が不要となるポリ袋を活用して作った、だし巻き卵や蒸しパンなどについてもお話していただきました。

鈴木先生からコメントをいただいたので、4ページに掲載します。



お湯が沸かせたら作れる！（ポリ袋調理）



最新ハザードマップを確認してみよう！

～情報収集編～

ほかの気象情報などはこちら

あきる野市ハザードマップ（土砂災害・水害）が平成30年度版に更新され、表面のハザードマップ（土砂災害・水害）だけでなく、裏面の啓発面についても充実した内容となりました。

そこで、前号の保存版（2・3ページ）では、自然災害時の避難行動についてご紹介しました。

今号の保存版では、避難行動が必要かどうかの判断材料の1つとして、気象庁のホームページを中心に、知っておきたい気象情報などの情報収集についてご紹介しします。

ぜひ、この機会にハザードマップについても確認してみましよう。

知っておきたい気象情報

警報等の種類

種類	予想される災害	
注意報	大雨注意報	浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど
	洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害のおそれのあるとき
警報	大雨警報	重大な浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど
	洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害のおそれのあるとき
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測・解析したとき	
特別警報	警報の発表基準をはるかに超える豪雨等異常な現象が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表します。「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。	

危険度を色分けした時系列

警報級や注意報級の現象が予想されている事項の概要を記載しています。なお、平成29年度出水期より図表形式での提供を開始しました。(従来の文章形式による表示も継続して提供しています。)

平成28年 8月30日5時19分 鹿兒島地方気象台発表

岩手県の注意報等事項
沿岸部では、30日朝から31日明け方まで土砂災害に、30日昼前から30日夜の明け方まで暴風に、31日明け方まで高波に警戒してください。

岩手県 大雨(土砂災害)、暴風警報
【継続】 波浪警報、雲、洪水、高波、濁流注意報
30日昼過ぎまでに洪水警報に切り替える可能性が高い
30日昼過ぎまでに高波警報に切り替える可能性が高い

発表中の警報・注意報等の種類	今後の推移(警報級・注意報級)										備考・関連する現象	
	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日		
記録的短時間大雨情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	記録的短時間大雨情報
洪水警報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	洪水注意
土砂災害警報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	土砂災害警報
暴風警報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	暴風警報
波浪警報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	波浪警報
雲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	雲
濁流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	濁流

※気象庁ホームページより

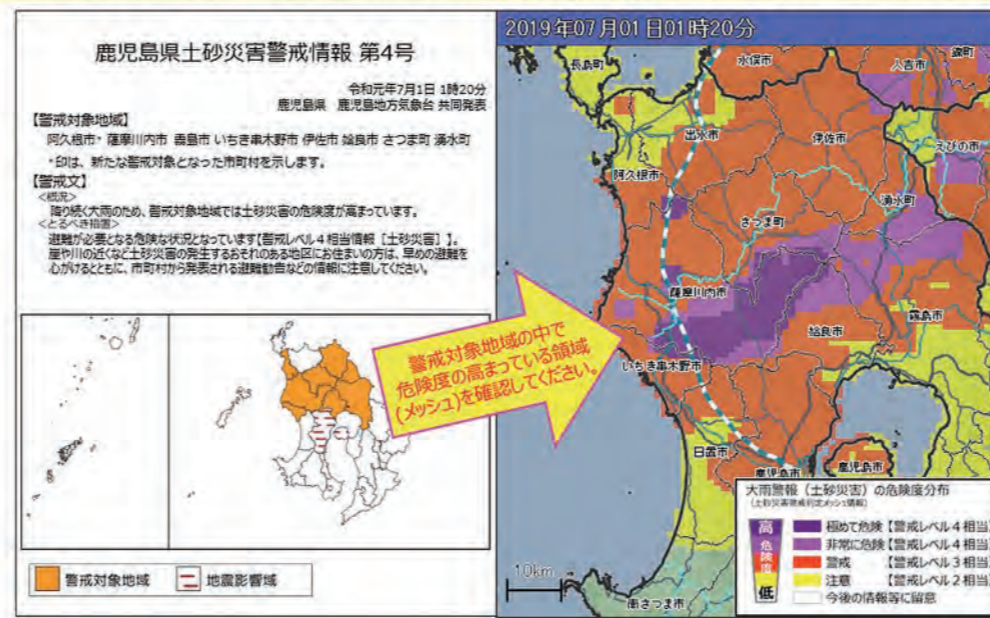
左図は、平成28年台風第10号が接近している際に、岩手県岩泉町に発表された気象警報を例として示したものです。

「発表中の警報・注意報等の種別」に示す気象警報・注意報の種類は、注意報を発表中であれば黄色、警報を発表中であれば赤色、警報に切り替える可能性が高い注意報を発表中であれば黄色の背景に赤い斜線を付して表示されます。

例えば、洪水については、朝(6～9時)から注意報級、昼過ぎ(12～15時)から警報級の危険度が予想されていることを表しています。左図の時点では洪水注意報が発表されていますが、これから洪水警報が発表される見込みであるということを示しています。この洪水注意報のように、警報に切り替える可能性が高い注意報は、黄色の背景に赤い斜線を付した表示となっていて、通常の注意報とひと目で区別できます。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。土砂災害警戒情報が発表された市町村内で危険度が高まっている詳細な領域は土砂災害警戒判定メッシュ情報で確認できます。



洪水警報の危険度分布



気象庁天気予報電話サービス

最新の天気を聞くことができます。
電話 177
ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/>

国土交通省防災情報提供センター

降水量や雨雲の動きなどを見ることができます。
ホームページ <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
携帯電話から <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

国土交通省京浜河川事務所

多摩川の雨量・水位情報
電話 045-503-5515
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
携帯電話から <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>

東京都水防災総合情報システム

都が観測している河川の水位や降水量を見ることができます。
ホームページ <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>
携帯電話から <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>

国土交通省相武国道事務所

防災情報、規制情報などを確認できます。
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/sobu/>

テレビのデータ放送

地上デジタルテレビのデータ放送から気象情報やニュース、災害時の情報を配信しています。テレビのリモコンの「d」ボタンを押すとデータ放送を見ることができます。データ放送を活用して、最新の情報を確認しましょう。